CSR/ESG レポート 2021-2022-2023

Key Figures of CSR/ESG 2021-2022-2023

KKきた産業株式会社
KITA SANGYO CO., LTD.

評価項目			2021 as of Sept. 2021	2022 as of Sept. 2022	2023 as of Sept. 2023	評価・コメント
アルミ*資源	アルミキャップの生産数		**2 億 1,830 万個**	**2 億 3,610 万個**	**2 億 3,150 万個**	**＊キャップの生産には、アルミのほかスチールやプラスチックも使用しますが、調達重量で一番多いアルミについての数値を記載しています。**
	原材料アルミの購入量		**403 ton**	**435 ton**	**429 ton**	
	アルミスクラップ発生量 （　）内は購入量に対する比率	純アルミ	**100 ton**（24.8%）	**118 ton**（27.1%）	**132 ton**（30.8%）	**方形のアルミ板から円形のキャップを打ち抜き（プレス）するので、仮に工程不良がゼロでも、15～30%（品種による）ものアルミスクラップが発生します。アルミスクラップはリサイクルされ、再びアルミ材となります。**
		プラ付きアルミ	**30 ton**（7.4%）	**37 ton**（8.5%）	**29 ton**（6.8%）	
	キャップ１個当たりのアルミスクラップ量	純アルミ	**100ton / 2.183 億個 = 0.458 g**	**118ton / 2.361 億個 = 0.498 g**	**132ton / 2.315 億個 = 0.572 g**	**2023 年に「プラ付きアルミスクラップ」からプラスチックを除去して、より有用性の高い「純アルミスクラップ」とする設備を導入しました。**
		プラ付きアルミ	**30ton / 2.183 億個 = 0.137 g**	**37ton / 2.361 億個 = 0.156 g**	**29ton / 2.315 億個 = 0.127 g**	
BPA*	BPA 不使用のポリエステル塗装の比率	アルミキャップ	**81%**	**89%**	**92%**	**＊BPA＝ビスフェノール A、有害可能性が指摘され、各国で規制が始まっている物質**
		スチールキャップ	**90%**	**93%**	**95%**	
エネルギー・エミッション	電力使用量 （工場部門）		**203.6 万KW**	**219.4 万KW**	**223.1 万KW**	
	CO_2 発生量 （工場部門）		**- - -**	**- - -**	**（暫定）843ton***	**＊エネルギー使用量を中心に環境省の排出係数に基づき算定した値。今後、より包括的な算定方式を検討します。**

評価項目		2021 as of Sept. 2021	2022 as of Sept. 2022	2023 as of Sept. 2023	評価・コメント
事務部門	紙の使用量 (A4 換算)	**38.^{5} 万枚**	**42.^{5} 万枚**	**42.^{9} 万枚**	
人的要素	１人１年当たり教育時間	**11.7 時間** FSSC 取得準備のため、増加	**13.5 時間** FSSC 取得準備のため、増加	**7.6 時間** FSSC を取得したため関連の教育時間は減ったが、2019-20 に比べて増加	
	１人１月当たり残業時間	**3.8 時間**	**7.0 時間**	**7.4 時間**	
	１人１月当り休暇取得日数	**1.1 日**	**1.0 日**	**1.3 日**	
お客様	顧客満足度（5 点満点）	**平均 4.74 点** **/65 社調査**	**平均 4.76 点** **/65 社調査**	**平均 4.82 点** **/65 社調査**	
工場運営	国際基準取得状況	**ISO9001**	**ISO9001** **FSSC22000＊**	**ISO9001** **FSSC22000**	**＊FSSC22000＝国際的な食品安全基準、2022 年 9 月に大阪工場と奈良工場で取得。**

（2024 年 1 月作成）

環境関連・社会貢献のトピックス 2023

きた産業株式会社
KITA SANGYO CO., LTD.

環境関連① ＜ソーラーパネルの導入＞

奈良工場 C 棟屋根にパネル設置（2023 年 10 月）

大阪工場
B 棟屋根にパネル設置
（2023 年 10 月）

2023 年 10 月、大阪工場・奈良工場でソーラーパネルを導入しました。（合計約 70KW 相当　大阪工場は 11 月から利用開始済み　奈良工場は 2024 年 1 月現在、電気利用に関する届け出の調整中）
きた産業としては、初めてのソーラー発電となります。

環境関連② ＜大阪事業所の照明の完全 LED 化＞

従来から照明の LED 化を進めていて、大阪事業所では総数約 500 台のうち 300 台以上が LED に交換済みでした。2023 年 12 月、残っていた通常蛍光灯照明※約 180 台を LED 照明に切り替えました。（※消防設備検査対象の非常時自動点灯内蔵照明、数台を除く。これらは消防設備業者によって 2024 年の早期に LED 化の予定。）
当社は大阪府が推進する「脱炭素経営宣言」に登録しています。

本社事務所（2024 年 1 月撮影）

環境関連③ <不良アルミキャップの資源分別度の改善>

従来は、生産工程・検査工程で排出する不良 PP キャップ（年間 100 万個以上）について、そのままプラスチックライナーがついた状態で「[プラ付きアルミスクラップ]として社外リサイクル業者に売却」していました。（＝アルミとプラスチックライナーの混合物としてリサイクルするので資源活用度が低かった。）

→ 2022～23 年、「アルミキャップシェル・ライナー分離機」を自社開発、順次稼働させました。

→ 2023 年後半から「大阪工場のディスクライナー付き PP キャップの不良品は、ほぼ全数を[純アルミスクラップ]と[プラスクラップ]に分離して社外リサイクル業者に売却」しています。（＝これにより、特にアルミ部分についてリサイクル資源としての有効活用度が高まった。）

従来のリサイクル物
アルミとプラの混合物

➡

2023 年後半からのリサイクル物
アルミとプラを分別リサイクル

環境関連④ <バイオマスプラスチックの採用>

サケびん口キャップとしてご採用が増えている「AZK」の外栓は、従来は「石油由来の樹脂」を使用して製造していましたが、2023 年春から「バイオ樹脂 10%含有品」に順次切り替えを行いました。
バイオマスマーク認定品として登録番号を取得しています。

社会貢献① ＜大阪事業所で毎週末の清掃活動＞

毎週末、大阪本社事業所では就業時間内の 15 分程度を充てて、周辺道路や隣接公園（桃谷公園）の一部を、事務部門社員全員で清掃しています。
毎週末清掃は 2005 年ごろから 20 年近く継続しています。
（写真は、2006 年 10 月―当社ブログからーと、2024 年 1 月の清掃活動の様子）

2006 年 10 月

2024 年 1 月

社会貢献② ＜酒類産業における講演＞

当社は「酒類業界に貢献する企業」を目指しており、社外での講演や講師を積極的に引き受けています。
2023 年は、神戸大学「日本酒学講座」、長野ワインアカデミー「スパークリングワイン」、宮崎県食品開発センター「スパークリング飲料製造技術」、秋田県酒造組合「王冠キャップについて」、SMC 社「酒類産業動向について」「日本ブドウ・ワイン学会総会での講演」、「関西醸友会での講演」などの実績がありあました。

2023 年 8 月
秋田県酒造組合

2023 年 12 月
日本ブドウ・ワイン学会

社会貢献③ ＜赤十字への寄付＞

若干の金額ではありますが、継続的に、毎年 12 月に日本赤十字への寄付を行っています。

（2024 年 1 月作成）